
アニメ&ゲーム+ キャラ ~逃げて戦って捕まえて~

月の歌姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アニメ&ゲーム＋キャラ　　く逃げて戦って捕まえてく

【Nコード】

N6166Z

【作者名】

月の歌姫

【あらすじ】

作者の好きなアニメ・ゲームキャラによるサバイバル鬼ごっこ！！作者のオリキャラが出ますが…それでもいいという神様はどうぞご覧ください。

集めれた者達（前書き）

プロローグ的なものです。

集めれた者達

ここは…名も無き無人島…。

とても広く…東京ドーム100個分はあるだろう…。

そこに南にある広場らしき場所に…彼らはいた。

ルーシィ「も

っ！何なのよここお

っ！…！？」

ナツ「落ち着けて。ルーィ…ルーシィ「ルーシィよ！！（怒）」

ルーィジ「そこまで反論しなくても…トホホ…（泣）」

ハッピー「あゝあ…ルーシィのせいで本物のルーィジが傷付いちゃった…」

ルーシィ「あ！ごめんなさい！！名前自体が嫌ってワケじゃなくて…間違えられるのが嫌ってだけで…」

グレイ「でもホントここどこなんだ？」

ハッピー「さあ？」

護「あれ？何か来たよ？」

その何かとは…右の方の手袋 マスターハンドとその弟 クレ
イジーハンドだった。

スマキヤラ以外「手袋おおっ！！！！！！！！？」

マリオ「マスターハンド!？」

カービィ「それにクレイジーハンドも!？」

ピカチュウ「略してマスハン、クレハンだね」

手袋兄弟（笑）「略すな!!!って作者ああああっ!!!!!!!」（怒）

スマキャラ「うるさっ…っっていうか作者、弄るなよ（ツツ）」

【しばらくお待ちください…】

マスハン「コホンッ…今回君たちに来てもらったのはゲームをするためだ」

全員「ゲーム？」

シロン「どんなゲームなんだ？」

クレハン「それはズバリ…サバイバル色々増やし鬼だ!！」

全員「サ、サバイバル色々増やし鬼？」

ズオウ「具体的に何するのー？」

マスハン「それは…」

全員「それは？」

ゴクリ…

マスハン「…次回説明する」

ズッテンツ！！

友兼「なんだそりゃー！！！！」

奈三子「ちゃんとした説明ないとわかんないだろ！？」

クレハン「っていうかよおマスター？確か…説明は今から配るコレに入ってるんじゃないかったのか？」

段ボールを運びながらクレイジーハンドが言った。
中には腕輪型の機械とバッグが人数分入っていた。

マスハン「……あ」

クレハン「まさか…忘れてたのか？」

しばしの沈黙。そして…

マスハン「……てへ」

ブチッ！！

スマキヤラ「『てへ』じゃねえだろうが！この糞手袋お！！！！（激怒）」

スマキヤラ全員、最後の切り札同時発動！
マスハンに9000億のダメージ！

マスハン「ぐふっ…クレイジー…あとは頼んだぞ…ガクッ」

マスハンは死んだ（笑）

全員「何遊んでんだよ作者は…」（ツッコミ& amp・呆^{アンタ}）

だって楽しいから

クレハン「……………（汗）と、とにかく今からコレ配るからな！？」

そう言って機械とバッグを配るクレイジーハンド。

そして…全員に渡った時、マスターハンドが起きた。

マスハン「では、全員解散！！気を付けて行けよ！！」

ウェンディ「がんばろうね！シャルル！！」

シャルル「ええ！」

そして…全員その場から離れた。

参加者リスト（前書き）

タイトル通りです。

キャラ崩壊があるかもしれませんが…。

参加者リスト

『大乱闘スマッシュブラザーズシリーズ』

- ・マリオ
- ・ルイージ
- ・ピーチ
- ・クッパ
- ・Drマリオ
- ・ドンキーコング
- ・ディディーコング
- ・ワリオ
- ・ヨッシー
- ・リンク
- ・子供リンク
- ・トゥーンリンク
- ・ゼルダノシーク
- ・ガノンドロフ
- ・カービィ
- ・メタナイト
- ・デデデ
- ・ピカチュウ
- ・プリン
- ・ピチュー
- ・レント（ポケモントレーナー）／ゼニガメ／フシギソウ／リザードン
- ・ルカリオ
- ・ミュウツー
- ・サマス・アラン
キャプテン
- ・Cファルコン

キャプテン

- ・Cオリマー
- ・フォックス・マククラウド
- ・ファルコ・ランバルディ
- ・ウルフ・オドネル
- ・ネス
- ・リユカ
- ・マルス
- ・ロイ
- ・アイク
- ・ピット
- ・ポポ
- ・ナナ
- ・ロボット
- ・Mr.ゲーム&ウォッチ
- ・ソリッド・スネーク
- ・ソニック・ザ・ヘッジホッグ

『FAIRY TAIL』

- ・ナツ・ドラグニル
- ・ルーシィ・ハートフィリア
- ・ハッピー
- ・グレイ・フルバスター
- ・エルザ・スカーレット
- ・ガジル・レッドフォックス
- ・ウェンディ・マーベル
- ・シャルル

『レジェンズ〜甦る竜王伝説〜』

・シロン

・ランシーン

・グリードー

・ガリオオン

・ズオウ

・ウォルフイー

・リーオン

・フリー（ヘキサドラゴン）

『勇者王ガオガイガーシリーズ』

・獅子王 凱ししおう がい

・天海 護あまみ まもる

・卯都木 命うつぎ みこと

・ルネ・カーディフ・獅子王ししおう

・戒道 幾巳かいどう いくみ

・ソルダートJ

『ケロロ軍曹』

・ケロロ

・ギロロ

- ・ドロロ
- ・タママ
- ・クルル
- ・日向 冬樹
- ・日向 夏美
- ・西澤 桃華
- ・東谷 小雪
- ・アンゴルⅡモア

『GA 芸術科アートデザインクラス』

- ・山口 如月
- ・友兼
- ・野田 ミキ
- ・野崎 奈三子
- ・大道 雅^{みやび}

『らき すた』

- ・泉 こなた
- ・柊 つかさ
- ・柊 かがみ
- ・高良 みゆき
- ・小早川 ゆたか
- ・岩崎 みなみ
- ・田村 ひより

・ 日下部 みさお
・ 峰岸 あやの

『 けいおん! 』
・ 平沢 唯 ゆい
・ 秋山 澪 みお
・ 田井中 律 りつ
・ 琴吹 紬 つむぎ
・ 中野 梓 あずさ
・ 平沢 憂 うい

『 ひだまりスケッチ 』
・ ゆの
・ 宮子
・ 沙英
・ ヒロ
・ なずな のり
・ 乃莉

『 Aチャンネル 』
・ るん

・ トオル
・ ナギ
・ ユー子

『 NEEDLES 』

・ アダム・ブレイド
・ イヴ・ノイシュヴァンシュタイン
・ クルス・シルトノ山田
・ 照山 最次^{もみじ}ノ内田
・ デイスク
・ セト
・ ソルヴァ
・ アルカ・シルト
・ 未央
・ セツナ^{くちなし}
・ 梶

『 ？ ？ ？ 』
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？

……の計120名が参加者。

参加者リスト（後書き）

因みに：シロン達は擬人化してますが：容姿については『FAIRY TAIL 〜Original Story〜』の『主人公達のプロフィールっ！！』をご覧ください。

では（・・）ノシ

オリキャラ組、到着っ！

その後…驚くことに皆、一つの場所に集まっていた。

ケロロ「ゲロ？何故皆さん、こんなところに集まったのでありますか？」

如月「そ、それは…ルールの確認をしなくてはいけないし…」

つかさ「かと言って一人でいるのも怖いから…」

ゆの「自然にみんな集まってたんだよね…」

唯「それにしても…鬼って一体、だれなのかあ？」

梶【木（×）気になるよね】

イヴ「っていうか…おい山田！この機械なんなんだ！？」

山田「僕の名前はクルスです！！って作者さん！！表示可笑いですー！！」

フリー「うゝん…ってうわっ！？」

ピーチ「どうかしたの？」

フリー「いや…この機械弄ったらなんか出て…」

ソニック「なんだそんなこ…ってマジか！？」

フリー「ホントだよ！だってホラ」

そう言つてフリーが指差すところには画面ディスプレイが出ていた。

タママ「一体どこ弄つたんですか!？」

フリー「えつとねえ…このAボタンを押したら出てきたよ?」

分かり難いかも知れないので、
をご覧ください。

肘 — A B C — 手

ウォルフィー「でかしたつ!！」

ノダミキ「ほつかには何があるのかなあ」 あっ! Bボタンを押したら時間が表示されたよ!」

るんちゃん「あつ本当だー」

ゆたか「で、Cボタンは…メールとテレビ電話…なのかな?」

小雪「でも、まだ使えないみたいですねえ…」

ディスク「つまり要約するとこんな感じね。Aボタンは操作画面の

スイッチ。Bボタンは時間表示。Cボタンは…今は使えないみたいだけど、通信機能つてわけね」

ルネ「なるほどな」

ピチュー「でも、まだ完全^{かんじえん}に操作^{しやうさ}方法がわかったつてわけじゃないでチュよ？」

全員「うーん」

カービィ「ねえー？なんかペンが、Cボタンの上のところから出てきたよ？」

デデデ「わかったゾイ！そのペンで操作するんだゾイ！」

トオル「あのさ…今、思ったんだけど…画面出すの一人の方がいいんじゃない？」

沙英「確かに…その方が見終わった時に動きやすいしね」

凱「問題は誰が出しておくか…だな」

なずな「あ…あのっ！」

ゼルダ「？何ですか？」

なずな「足が速くて…機械に強い人が適任なんじゃないでしょうか…？」

梓「なるほど…。ん？機会に強いってのはわかるけど…足が速い人

ってどうゆう事ですか?」

なずな「えっと…その…鬼が何処から来るかわからないし…」

アルカ「つまり君は…最初に出していた人が捕まるかもしれないと思っ
て言った…という事か?」

なずな「はい…」

ルーシィ「そつかあ…いい子なのね!」

ハッピー「あい!ルーシィと違ってね!」

ルーシィ「ヒゲ引っこ抜くわよ?ネコちゃん(引き攣った笑顔)」

リーオン「ヒソッ」あの姉ちゃん意外と怖いな」

ウォルフィー「ヒソッ」なるべく怒らせない方がいいな」

と、ウォルフィーが言った時に背後から声が響く。

????1「ヒソヒソ話してると逆効果だよー?」

リーオン&ウォルフィー「うおわあっ!?!」

全員「!?!?!」

二人の背後には年齢が違う5人の男女がいた。

夏美「だっ誰！？あなた達！？」

「???1「あれ？月姉えから聞かなかった？」???1「たちも参加者だよ？」」

全員「いや、今初めて聞きました（真顔&汗）」

ガジル「っーかお前ら誰だよ？」

「???1「みゆ？ミーシャだよっ」ミーシャ・ガルザーク」！よろしくね」

「???2「私は…」ディアン・レイシャント」…」

「???3「僕はノア。」ノア「ロウグ」」

「???4「俺は」ヨキ」だ！」

「???5「私はアスナ。」かんなぎ巫「アスナ」です」

「???1 ミーシャ「よっろしっくねー」」

「???2 ディアン「詳しい事はソレの中にある図鑑に書いてあるよ…」」

「???3 ノア「参加者リストの各個人の名前をそのペンで触れば閲覧可能だから」」

「???4 ヨキ「まあ、暇な時に見てくれよ!」

レジエンス組（息ピッタリだな）

ノダミキ「どれどれ?」

「???5 アスナ「…ってもう見てる子いる!」?」

ミーシャ・ガルザーク

性別：女

年齢：10歳

外見：黄緑の髪に金色の瞳

性格：人懐っこく騙されやすい

備考：ビーストソウル獣化という能力を持っている。

ピット「ビーストソウル獣化?」

照山「どんな能力なんだ?」

ミーシャ「そのまんまだよ?動物に変身できるんだー
ビーストソウル獣化・猫!」
たとえば…

すると、ミーシャの頭に猫耳が、腰からは尻尾が生えた。

ブレイド「／／／っ！！！？」

女性陣「カワイイ」

ミーシャ「えっへへー　まだまだ序の口だよー？えいつ！！」

ここで、ジャンプしてクルリと一回転すると背が縮んでかなり猫っぽくなった（『流されて藍蘭島』の”すず”が動物になってしまった時みたいな感じ）。

女性陣「キャ　　ッ！！」

未央「か、かわいすぎだよー……」

ロボット「ス、凄イデスネ……」

ミュウツー「……っ、次のを見るか……」

ディアン・レイシャント

性別：男

年齢：18歳

外見：銀髪に灰色の瞳

性格：無愛想・無関心・無表情・無口

備考：魔装者。淡々とした口調で話す

ウルフ「魔装”？なんだそりゃ？」

ディアン「…特殊な武器の事だけど、選ばれた人にしか使えないんだ…。で、”魔装者”はその選ばれし者の事」

ルーシィ「どんな武器^{もの}があるの？」

ディアン「ガントレットに剣、杖と鍵…それから銃だね…」

ロイ「じゃあ次の人も見て見ますか」

ケロロ「というか一気に見るでありますっ！」

キョージュ「何故だ？」

ケロロ「その方が速いからでありますっ！！（本当はめんどくさいだけあります…）」

冬樹「ぐ、軍曹…？」（ ）の中見えてるよ？」

ノア「ロウグ

性別：男

年齢：17歳

外見：赤銅色の髪に緋色の瞳

性格：『薔薇のマリア』の”マリアローズ”みたいな感じ

備考：『家庭教師ヒットマンREBORN!』の死ぬ気の炎の波動を全て（オリ含む）持っている

ヨキ

性別：男

年齢：19歳

外見：真紅の髪に橙色の瞳

性格：ちよつと荒っぽい

備考：闇の滅竜魔導師
ドラゴンスレイヤー

巫 かなぎ
アスナ

性別：女

年齢：14歳

外見：ツインテールの灰金の髪に、アッシュブロード、ルミナスグリーン、蛍光緑と緋色の瞳

性格：明るい

備考：『聖天の書』という魔導書の所持者で、この本に書かれている魔法を使う。

レント「以上で終わりだよ」

ノダミキ「ねえアスナちゃん！『聖天の書』って誰でも使えるの？」

アスナ「えつとね…さっきディアンが言ってた魔装と同じで、選ばれた人にしか扱えないの…」

ノア「血の契約っていう儀式を行ってるからね…仕方ないんじゃない？」

ナツ「ふーん…。ところでよノア！死ぬ気の炎ってどんな炎なんだ！？うまいのか！？」

ノア「はいっ！？」

F・T・組以外「えっ？食べる気なの！？」

ルーシィ（やっぱりそこに食らいつくんだ…）

ハッピー（それがナツです！）

ヨキ「何そこコソコソしてんだ？」

シャルル「っていうか…アンタ、ドラゴンスレイヤー滅竜魔導師なのね」

グレイ「気をつけろよ」

ヨキ「？それどういう意味　ナツ「おいつ、ヨキ！オレと勝負しろ！！」　なるほどな（汗）」

リンク「それよりそろそろ本題にはいつていいか？」

全員「あ、忘れてた」

ルール説明

前回：遅れて登場してきたオリキャラ達のために中断してしまったルール確認。

今回はルールについての説明です。

ノア＆ヨキ「って、それ作者のせいでしょ（だろ）！？」

リュカ「ど、どうしたんですか？」

ディアン「多分：作者の説明書きにツツコンでと思う」

ウォッチ【冷静に分析するとこナノ？】

戒道「それよりルール確認しようよ……」

ルイージ「それはいいけど……この子で大丈夫なの！？」

因みに、ディスプレイ画面を出しているのはミーシャ。

ミーシャ「だいじょーぶ！ミーシャは足早いから！」

エルザ「だが機械の方は大丈夫なのか？」

ミーシャ「それは……大丈夫だよ！………たぶん」

ヨキ「いや、そんな間をおいて話しても説得力ねえよ？」

ノア「それに…『たぶん』なんか付けたら説得力もつとなくなるしね」

ミーシャ「でもお！二人ともアス姉えの時は納得してるじゃんかー！」

ノア「時と場合によりけりだからねー」

ヨキ「そーゆーこと」

ミーシャ「~~~~~っ（顔真つ赤）」

アスナ「はいはい、ミーシャちゃん弄りはそれくらいにしようね、二人とも？」

ノア&ヨキ「いや弄ってなんか　アスナ「ふん…？（何やら黒いオーラを放ちニツコリ）」すみません！（orz&汗）」

アスナ「はいー素直でよろしいー。じゃ、ルール確認始めよっか？（爽やか笑顔）」

ユー子「そ、そーやな…（この子何や！？さっきとまるっきり違うやん！）」

ヒロ「そ、そうね…そろそろルール確認しないとね…（この子だけは怒らせないようにしなきゃ…！）」

セツナ「じゃ、じゃあミーシャ…だったわよね？よろしくね？」

アスナ「？皆さんどうしたんですか？何かに怯えてるみたいですけど…？」

オリキャラ以外「えっ！？」

ピーチ（ま…まさかこの子…！）

漣（自覚ないのか！？）

ウルフ（一番厄介なタイプだな…こりゃ…）

ミーシャ「？アス姉え？さっき怒ってなかったの？」

ルーシィ（まさかの直球コース！？）

ランシーン（無謀ですね…）

アスナ「まつさかぁ！怒ってるわけないでしょ？そ・れ・に…今はすこーしだけ…イラッときただけだよ」

トウーン（あれで！？）

サムス（あれがこの子の中だと少してレベルなのね…）

ヨキ「まあ確かになあ…アスナが怒るとヤバいからなあ…」

オリキャラ「ヨキ（兄い）っ！！（冷汗）」

アスナ「……それじゃあルール確認開始だねっ」

全員「あれ？キレないの？」

アスナ「アレ位でキレたりしませんよ？」

そう言うアスナはヨキに近づいて一言。

アスナ「（あとで光の章・第10条『破^{ブレイク}』喰らわすから、覚悟してね）」

ヨキ「！？（滝汗）」

「J&ルネ&ガジル&ファルコ」……………（汗）」 聞こえてた方々

ミーシャ「んじゃっ！ルール確認スタートっ！」

その1、ルール説明

1、これから君達には…5日間、つまり120時間この無人島で逃げ回ってもらう。

見事逃げ切れれば…景品として、君たちの願いを一つだけ叶え、食事会に招待する。

2、君達が解散した3時間後から10分間は『CRAZY TIME』となり、この時間に捕まえられた場合、その時間が過ぎるまで動くことはできなくなる。

こなた「クレイジー」？」

ディディー「ってまさかっ!？」

尚、スマブラキャラには分かんと思うが…最初の鬼は私の弟…クレイジーハンドだ。

スマキャラ「やっぱりかあああああっ!！」

クルス「クレイジーハンドってさっきいた手袋ですか？」

マルス「ま、まあね…」

ナギ「そんなに叫んでたって事は…ヤバい相手なのか？」

プリン「マズイというより…」全力”で逃げなきゃいけない相手プリね」

ひより「ぜ、全力っスか!？」

アイク「いきなりか…」

アスナ「あ…この項目まだ続きがあるよ」

だが、クレイジーハンドに捕まってしまった場合、出身世界が同じものが触れれば再起動できるので、安心したまえ。

ただし、他の世界の者が触れても元には戻れない。

ナツ「つまりこれ…どういうことだ？」

ノア「簡単に言うと…たとえば僕が捕まったら同じオリキャラのミィシャ、ディアン、ヨキ、アスナが触れると再び動くことができるけど…それ以外のメンバーが触れても何も起きないって事」

トオル「だとしたら…スマキヤラが一番有利なんじゃあないの…？人数多いし」

フォックス「いや、そうでもないぞ？実際はさらに分けられてるから…一番有利なのはNEEDLESS組じゃないのか？」

リンク「確かに……続きを読むぞ」

3 因みに、捕まえられると当たり前だが鬼となり、残りのメンバーを捕まえなければならぬ。

全員捕まえることができなかった場合、私…マスターハンドよりお仕置きがある。

4 確保情報は君達の腕に装着された装置『クロスブースター』に連絡していく。

また、生存者同士・鬼同士での連絡は可能。

5 食料についてだが…生存者には支給されず、鬼にのみ支給される。

大食い組「なにいいっ!？」

アイク「食料なしだどっ!？」

ドンキー「マジかよオオっ!？」

ヨッシー「そんなの厳しすぎますー!! (泣)」

カービィ「ボクたちを餓死させる気か
っ!! (怒)」

デデデ「責任者を呼んでくるゾイ!! (激怒)」

ロイ「ちょ…! 皆さん落ち着いてくださいっ!」

大食い組「落ち着けるか
っ!!!!!! (超激怒)」

全員「…………… (汗)」

シロン「だめだなこりゃ…」

ブレイド「ほっとして次のヤツ見よーぜ」

その2 食料調達について

1 この島には…至る所に宝箱が置いてあり、24時間毎に100個ずつ補充されるためなくなる事はなく、スタート時から100個置かれる。

鍵はかかっていないため、簡単に開けることができる。

中身は…半分は食料で、もう半分は逃げるために有利なアイテムだが…使用制限がかかってあるものや、ハズレがあるので注意する事。

2 宝箱に入っている食料は缶詰が5つと乾パンと氷砂糖が5袋入っていて、支給したバッグに入れて係蹄することも可能。

3 他の食料は木などに実っている木の実やキノコはすべて食べられるが、それ以外の草などは食べる事ができない。

また、魚を捕って食べる事もできるが、海で取ることはできないので注意する事。

4 それでも食料が見つからなかった場合…『クロスブースター』のCボタンを押すと『リタイア』という文字が出るので、そこをタッチペンで触れてくれ。

すると、大きな音が出て確実に確保されるが…食料は支給する。

大食い組「……………（Cボタンを見てる&涎」

ミーシャ「あつ続きが書いてある」

ただし！『リタイア』の文字に触れる事ができるのは『CRAZY TIME』が終わったあとだ！

大食い組「くっそおおおおっ！！」

ノア「これ書いた人…あいつ等（大食い組）の事よく理解してるね…」

全員「うんうん」

ディアン「続き見よ」

その3、制限付きアイテムについて

制限付きアイテムは、生存者側に通達される『ミッション』、また鬼が再び生存者になる事ができる『敗者復活戦』にて使用する。また…中には特定のキャラクターにしか使用出来ない物もあるため、注意してほしい。

以上で説明は終わりだ。

諸君等の健闘を祈る。

リンク「これでルールは全部か？」

ピカチュウ「そうみたいピカね…」

ゆたか「わたし…逃げ切れるかなあ…？」

ピーチ「『逃げ切れるかなあ…？』じゃなくて『必ず逃げ切る』よ？気持ちを強く持たなきゃ！」

みなみ「でも…私たちの場合は…力がないから最初に捕まる可能性が高いよ…」

戦えない方々「あ…」

ゆの「そう言えばそうだよね…」

メタナイト「これは難題だな…」

ミーシャ「んゝ…だったら、力がある人と一緒にいるってというのは
どうかな？」

ヨキ「あのなあ…そーゆー問題じゃね 戦えない方々「なるほど
おー！」 っておいつ！」

アスナ「そうだね…『CRAZY TIME』が終わるまでは三人
チームで行動する方がいいかも…」

ヨキ「いやさ…だか ノア「でも…三人だと分けるのが難しい
よ？せめて五・六人に分けるのがいいんじゃない？」 お前もか
よっ！っーか ディアン「最低でも同じ世界の人が二人いて…
力のあるやつ二人だと…それが一番いいね…」…（泣）」

全員（うわぁ…精神攻撃キツッ…）

冬樹「と…とにかく！みんな絶対に逃げ切ろう！」

桃華「そうですね！（冬樹君…カッコいい）」

マリオ「二人のいう通りだな…。よしっ皆、頑張ろうぜ！」

全員「オ ツ！！」

そう言っていると全員、何人かのチームに分かれ、アイテムと食料、隠れ家を探しにいった…。

そして…その場に残ったのはアスナだけだった…。

アスナ（皆行つたみたいだね…。そういえば…バッグの中身って何なんだろう…？）

そう言つてアスナはバッグを覗いた。

中に入っていたのは『誰にでもできるサバイバル術！』と書かれたサバイバルブックとタイマーだった。

アスナ「…用意周到だなあ…って！『ルール』の下の項目って『地図』なのおっ！？分かり難いわっ！…」

アスナは文句を言いながらも地図を見始めた…。

ルール説明（後書き）

次は舞台となる無人島の設定です！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6166z/>

アニメ&ゲーム+ キャラ ~逃げて戦って捕まえて~

2011年12月25日18時52分発行